



三島町立三島中学校

桐の里だより

【教育目標】

心豊かな生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい生徒

令和5年3月号 校長 鶴水 達也



ふるさと学習・伝統行事「雪と火のまつり」

「ふるさと学習」の一環として、2月18日に「雪と火のまつり」に参加しました。地域のみなさんとともに伝統行事に関わることで、その意義や役割を学べたこと、継承者としての自覚が芽生えたことは極めて有意義でした。



【みんなでサイノカミづくり】



【完成！サイノカミ！】

レク大会及び3年生を送る会

3月8日に、レク大会及び3年生を送る会を行いました。レク大会では、生徒会役員が作成したクイズを全校生が楽しみました。3年生を送る会では、3年生に全校生で作成した色紙がプレゼントされました。また、3年生と1・2年生がお互いにダンスをおくり合いました。全校生の良い思い出になった行事でした。



【後輩から先輩へ色紙のプレゼント】



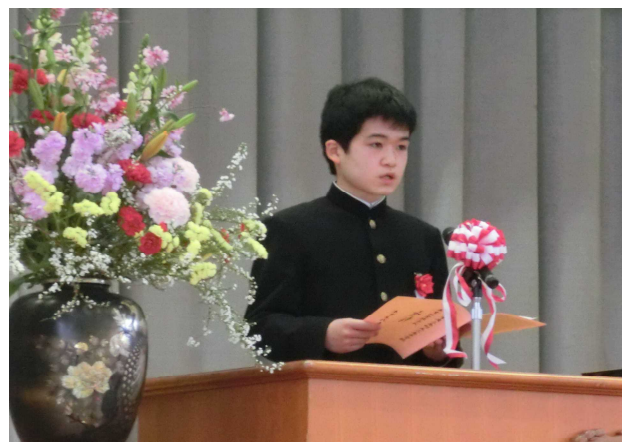
【3年生の見事なダンス】

眉上げて、羽ばたく、三島っ子

3月13日、ご来賓のみなさまをお迎えし、卒業証書授与式を行いました。10名の三島っ子が中学校を巣立ちました。よく頑張れた3年間で、大きく成長した10名。夢に向かって、眉上げて、羽ばたけ！三島っ子！



【卒業生・保護者を含め記念撮影】



【卒業生代表・答辞】

【校長式辞・要点】

大切にしてほしいこと三つおくります。一つ目は、「夢」と「志」です。立志式で、アフガニスタンで活躍した医師中村哲さんの話をもとに、夢と志の話をしました。「志」人の命を救いたい、「夢」医師になりたい、と言う話でした。

三年生のある生徒の「キャリア・パスポート」に、「誰かの一番の理解者になりたい」と「志」が書いてありました。そして、夢として「〇〇先生のような人(*1)」ともありました。感動しました。立派な「志」と「夢」です。

そこで、みなさんに、ひとつアドバイスです。桐陽祭でのある生徒の言葉「どんなに夢がかわっても、最初の気持ちは貫きたい」。夢は、何度でも変わってもいいのです。夢に向かって、何度でもやり直してもいいのです。どんなに夢がかわっても、最初の気持ち、すなわち「志」があれば、道はひらけます。**人生のエネルギーとなる「夢」と「志」を大切に、人生を歩んでください。**

二つ目は、自己マネジメント力です。自己マネジメント力で大切なポイントが、桐陽祭で示されました。「強くなるために、自分の弱さと向き合うこと」と、三年生の言葉です。まさに、自己マネジメント力は、自分の弱さと向き合い、自分の気持ちをコントロールすることです。**自分らしく生きるため、自分の人生を「自己マネジメント」できる人になってください。**

三つ目は、「人とのつながり」です。着任式での歓迎の言葉「先生も地域の人もみんな仲良しです」。ある生徒の三島町を紹介した言葉「三島町は、子どもが豊かに暮らせます」。駅伝大会での言葉「みんなのお陰で頑張れました。みんなのお陰でキャプテンがつとまりました」。全て「人とのつながり」です。

人は「人とのつながり」で、成長できます。そして、人は「人とのつながり」で、救われます。「人とのつながり」を大切にできる人になってください。

(*1)本校の教職員の氏名が目標として記載されていました。

【校長のひと言】☆はやいもので、今年度、最後の学校だよりです。1年間、ご愛読ありがとうございました。☆ホームページを定期的に更新中です。現在78、500閲覧(7月号発行時66、175閲覧)、8ヶ月間で12、300閲覧でした。記事への多数の「いいね！」もありがとうございます。